

第2章 社会

第1 教科目標、評価の観点及びその趣旨等

1 教科目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2 評価の観点及びその趣旨

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、よりよい社会を考え自覚をもって責任を果たそうとする。	社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	社会的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身に付けている。

3 内容のまとめ

社会科においては、学習指導要領の内容の(1)ア、イや(2)ア、イなどのそれぞれを内容のまとめとした。ただし、歴史的分野については(1)～(6)のそれぞれを内容のまとめとした。

第2 内容のまとめごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

I 地理的分野

1 地理的分野の目標

- (1) 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。
- (2) 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかかわりでとらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえさせる。
- (3) 大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係し合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。
- (4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。

2 地理的分野の評価の観点の趣旨

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
地理的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、広い視野に立って我が国の国土	地理的事象から課題を見だし、日本や世界の地域的特色を地域の規模に応じて環境条件	地図や統計、映像など地域に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、	日本や世界の諸地域について、その地域構成や地域的特色、地域の課題などを理解し、そ

及び世界の諸地域の特色について認識を養おうとする。	や人々の営みなどに関連付けて多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	読み取ったり図表などにまとめたりしている。	の知識を身に付けている。
---------------------------	--	-----------------------	--------------

3 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

(1) 「(1) ア 世界の地域構成」

【学習指導要領の内容】

ア 地球儀や世界地図を活用し、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分などを取り上げ、世界の地域構成を大観させる。

【「(1) ア 世界の地域構成」の評価規準に盛り込むべき事項】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
世界の地域構成に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	世界の地域構成を、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分などを基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	地球儀や世界地図など世界の地域構成に関する様々な資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界の地域構成について、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分などを理解し、その知識を身に付けている。

【「(1) ア 世界の地域構成」の評価規準の設定例】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分などを基に、世界の地域構成に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の地域構成を、緯度と経度を基に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 世界の地域構成を、大陸と海洋の分布を基に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 世界の地域構成を、主な国々の名称と位置を基に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 世界の地域構成を、地域区分を基に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地球儀や世界地図など世界の地域構成に関する様々な資料から、世界の地域構成について有用な情報を適切に選択している。 適切に選択した情報を基に、世界の地域構成について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の地域構成について、緯度と経度を理解し、その知識を身に付けている。 世界の地域構成について、大陸と海洋の分布を理解し、その知識を身に付けている。 世界の地域構成について、主な国々の名称と位置を理解し、その知識を身に付けている。 世界の地域構成について、地域区分を理解し、その知識を身に付けている。

- ※ 上記の各観点における評価規準の設定例については、これらは、あくまでも例示であり、各学校においてそれぞれの観点について例示と異なる設定を行うことができるのは、当然である。
- ※ 上述の注記については、社会科各分野のすべての「内容のまとめり」においても同様である。

(2) 「(1) イ 世界各地の人々の生活と環境」

【学習指導要領の内容】

イ 世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察させ、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる。

【「(1) イ 世界各地の人々の生活と環境」の評価規準に盛り込むべき事項】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
世界各地の人々の生活と環境の多様性に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	世界各地の人々の生活と環境の多様性を、自然及び社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	世界各地の人々の生活と環境の多様性に関する様々な資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然及び社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を理解し、その知識を身に付けている。

【「(1) イ 世界各地の人々の生活と環境」の評価規準の設定例】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
・自然及び社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を基に、世界各地の人々の生活と環境の多様性に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	・世界各地の人々の生活と環境の多様性を、自然的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を基に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・世界各地の人々の生活と環境の多様性を、社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を基に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・世界各地の人々の生活と環境の多様性に関する様々な資料から、世界各地の人々の生活と環境の多様性について有用な情報を適切に選択している。 ・適切に選択した情報を基に、世界各地の人々の生活と環境の多様性について読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を理解し、その知識を身に付けている。 ・世界各地の人々の生活と環境の多様性について、社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を理解し、その知識を身に付けている。

(3) 「(1) ウ 世界の諸地域」

【学習指導要領の内容】

ウ 世界の諸地域について、以下の(ア)から(カ)の各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に主題を設けて、それぞれの州の地域的特色を理解させる。

- (ア) アジア (イ) ヨーロッパ (ウ) アフリカ
(エ) 北アメリカ (オ) 南アメリカ (カ) オセアニア

【「(1) ウ 世界の諸地域」の評価規準に盛り込むべき事項】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
世界の諸地域の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	世界の諸地域の地域的特色を、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、北アメリカ、南アメリカ、オセアニアの各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	世界の諸地域の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界の諸地域について、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、北アメリカ、南アメリカ、オセアニアの各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。

【「(1) ウ 世界の諸地域」の評価規準の設定例】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
・アジア、ヨーロッパ、アフリカ、北アメリカ、南アメリカ、オセアニアの各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に、世界の諸地域の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	・アジア州の地域的特色を、そこに暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ※次の地域についても同様 ・ヨーロッパ州 ・アフリカ州 ・北アメリカ州 ・南アメリカ州 ・オセアニア州	・世界の諸地域の地域的特色に関する様々な資料を収集している。 ・収集した資料から、世界の諸地域の地域的特色について有用な情報を適切に選択している。 ・適切に選択した情報を基に、世界の諸地域の地域的特色について読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・アジア州について、そこに暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ※次の地域についても同様 ・ヨーロッパ州 ・アフリカ州 ・北アメリカ州 ・南アメリカ州 ・オセアニア州

(4) 「(1) エ 世界の様々な地域の調査」

【学習指導要領の内容】

エ 世界の諸地域に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、様々な地域又は国の地域的特色をとらえる適切な主題を設けて追究し、世界の地理的認識を深めさせるとともに、世界の様々な地域又は国の調査を行う際の視点や方法を身に付けさせる。

【「(1) エ 世界の様々な地域の調査」の評価規準に盛り込むべき事項】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
世界の様々な地域の調査とその地域的特色に対する関心を高め、そ	世界の様々な地域の地域的特色をとらえる適切な主題を設定し、世	世界の様々な地域の調査とその地域的特色に関する様々な資料を取	世界の様々な地域の調査について、地域的特色とともに、世界の様

れを意欲的に追究し、とらえようとしている。	界の様々な地域の調査を行う際の視点や方法を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	々な地域の調査を行う際の視点や方法を理解し、その知識を身に付けている。
-----------------------	---	--	-------------------------------------

【「(1) エ 世界の様々な地域の調査」の評価規準の設定例】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 世界の様々な地域の調査を行う際の視点や方法を基に、地域の調査とその地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の様々な地域の地域的特色をとらえる適切な主題を設定し、その過程や結果を適切に表現している。 世界の様々な地域の地域的特色を、地域の調査を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 世界の様々な地域の調査を行う際の視点や方法を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の様々な地域の調査とその地域的特色に関する様々な資料を収集している。 収集した資料から、世界の様々な地域の調査とその地域的特色について有用な情報を適切に選択している。 適切に選択した情報を基に、世界の様々な地域の調査とその地域的特色について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の様々な地域の調査について、調査する地域の地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 世界の様々な地域の調査について、地域の調査を行う際の視点や方法を理解し、その知識を身に付けている。

(5) 「(2) ア 日本の地域構成」

【学習指導要領の内容】

ア 地球儀や地図を活用し、我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを取り上げ、日本の地域構成を大観させる。

【「(2) ア 日本の地域構成」の評価規準に盛り込むべき事項】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
日本の地域構成に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	日本の地域構成を、国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	地球儀や地図など日本の地域構成に関する様々な資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	日本の地域構成について、国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを理解し、その知識を身に付けている。

【「(2) ア 日本の地域構成」の評価規準の設定例】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 国土の位置，世界各地との時差，領域の特色と変化，地域区分などを基に，日本の地域構成に対する関心を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の地域構成を，国土の位置を基に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 日本の地域構成を，世界各地との時差を基に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 日本の地域構成を，領域の特色と変化を基に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 日本の地域構成を，地域区分を基に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地球儀や世界地図など日本の地域構成に関する様々な資料から，日本の地域構成について有用な情報を適切に選択している。 適切に選択した情報を基に，日本の地域構成について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の地域構成について，国土の位置を理解し，その知識を身に付けている。 日本の地域構成について，世界各地との時差を理解し，その知識を身に付けている。 日本の地域構成について，領域の特色と変化を理解し，その知識を身に付けている。 日本の地域構成について，地域区分を理解し，その知識を身に付けている。

(6) 「(2) イ 世界と比べた日本の地域的特色」

【学習指導要領の内容】

イ 世界的視野や日本全体の視野から見た日本の地域的特色を取り上げ，我が国の国土の特色を様々な面から大観させる。

(ア) 自然環境

世界的視野から日本の地形や気候の特色，海洋に囲まれた日本の国土の特色を理解させるとともに，国内の地形や気候の特色，自然災害と防災への努力を取り上げ，日本の自然環境に関する特色を大観させる。

(イ) 人口

世界的視野から日本の人口と人口密度，少子高齢化の課題を理解させるとともに，国内の人口分布，過疎・過密問題を取り上げ，日本の人口に関する特色を大観させる。

(ウ) 資源・エネルギーと産業

世界的視野から日本の資源・エネルギーの消費の現状を理解させるとともに，国内の産業の動向，環境やエネルギーに関する課題を取り上げ，日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を大観させる。

(エ) 地域間の結び付き

世界的視野から日本と世界との交通・通信網の発達の様子や物流を理解させるとともに，国内の交通・通信網の整備状況を取り上げ，日本と世界の結び付きや国内各地の結び付きの特色を大観させる。

【「(2) イ 世界と比べた日本の地域的特色」の評価規準に盛り込むべき事項】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
世界と比べた日本の地域的特色に対する関心を高め，それを意欲的	世界と比べた日本の地域的特色を，世界的視野や日本全体の視野か	世界と比べた日本の地域的特色に関する様々な資料から，有用な情	世界と比べた日本の地域的特色について，世界的視野や日本全体の

に追究し、とらえようとしている。	ら見た自然環境,人口,資源・エネルギーと産業,地域間の結び付きを基に多面的・多角的に考察し,その過程や結果を適切に表現している。	報を適切に選択して,読み取ったり図表などにまとめたりしている。	視野から見た自然環境,人口,資源・エネルギーと産業,地域間の結び付きを理解し,その知識を身に付けている。
------------------	--	---------------------------------	--

【「(2) イ 世界と比べた日本の地域的特色」の評価規準の設定例】

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 世界的視野や日本全体の視野から見た自然環境,人口,資源・エネルギーと産業,地域間の結び付きを基に,世界と比べた日本の地域的特色に対する関心を高め,それを意欲的に追究し,とらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界と比べた日本の地域的特色を,世界的視野や日本全体の視野から見た自然環境を基に多面的・多角的に考察し,その過程や結果を適切に表現している。 世界と比べた日本の地域的特色を,世界的視野や日本全体の視野から見た人口を基に多面的・多角的に考察し,その過程や結果を適切に表現している。 世界と比べた日本の地域的特色を,世界的視野や日本全体の視野から見た資源・エネルギーと産業を基に多面的・多角的に考察し,その過程や結果を適切に表現している。 世界と比べた日本の地域的特色を,世界的視野や日本全体の視野から見た地域間の結び付きを基に多面的・多角的に考察し,その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界と比べた日本の地域的特色に関する様々な資料から,世界と比べた日本の地域的特色について有用な情報を適切に選択している。 適切に選択した情報を基に,世界と比べた日本の地域的特色について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界と比べた日本の地域的特色について,世界的視野や日本全体の視野から見た自然環境を理解し,その知識を身に付けている。 世界と比べた日本の地域的特色について,世界的視野や日本全体の視野から見た人口を理解し,その知識を身に付けている。 世界と比べた日本の地域的特色について,世界的視野や日本全体の視野から見た資源・エネルギーと産業を理解し,その知識を身に付けている。 世界と比べた日本の地域的特色について,世界的視野や日本全体の視野から見た地域間の結び付きを理解し,その知識を身に付けている。

(7) 「(2) ウ 日本の諸地域」

【学習指導要領の内容】

ウ 日本を幾つかの地域に区分し,それぞれの地域について,以下の(ア)から(キ)で示した考察の仕方を基にして,地域的特色をとらえさせる。

(ア) 自然環境を中核とした考察

地域の地形や気候などの自然環境に関する特色ある事象を中核として、それを人々の生活や産業などと関連付け、自然環境が地域の人々の生活や産業などと深い関係をもっていることや、地域の自然災害に応じた防災対策が大切であることなどについて考える。

(イ) 歴史的背景を中核とした考察

地域の産業、文化の歴史的背景や開発の歴史に関する特色ある事柄を中核として、それを国内外の他地域との結び付きや自然環境などと関連付け、地域の地理的事象の形成や特色に歴史的背景がかかわっていることなどについて考える。

(ウ) 産業を中核とした考察

地域の農業や工業などの産業に関する特色ある事象を中核として、それを成立させている地理的諸条件と関連付け、地域に果たす産業の役割やその動向は他の事象との関連で変化することなどについて考える。

(エ) 環境問題や環境保全を中核とした考察

地域の環境問題や環境保全の取組を中核として、それを産業や地域開発の動向、人々の生活などと関連付け、持続可能な社会の構築のためには地域における環境保全の取組が大切であることなどについて考える。

(オ) 人口や都市・村落を中核とした考察

地域の人口の分布や動態、都市・村落の立地や機能に関する特色ある事象を中核として、それを人々の生活や産業などと関連付け、過疎・過密問題の解決が地域の課題となっていることなどについて考える。

(カ) 生活・文化を中核とした考察

地域の伝統的な生活・文化に関する特色ある事象を中核として、それを自然環境や歴史的背景、他地域との交流などと関連付け、近年の都市化や国際化によって地域の伝統的な生活・文化が変容していることなどについて考える。

(キ) 他地域との結び付きを中核とした考察

地域の交通・通信網に関する特色ある事象を中核として、それを物資や人々の移動の特色や変化などと関連付け、世界や日本の他の地域との結び付きの影響を受けながら地域は変容していることなどについて考える。

【「(2) ウ 日本の諸地域」の評価規準に盛り込むべき事項】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
日本の諸地域の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	日本の諸地域の地域的特色を、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結び付きのいずれかを中核とした考察の仕方を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	日本の諸地域の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	日本の諸地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結び付きのいずれかを中核とした考察の仕方を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。

【「(2) ウ 日本の諸地域」の評価規準の設定例】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
・自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や	・日本のいずれかの地域の地域的特色を、自然環境を中核とし	・日本の諸地域の地域的特色に関する様々な資料を収集してい	・日本のいずれかの地域について、自然環境を中核とした考察

<p>都市・村落，生活・文化，他地域との結び付きのいずれかを中核とした考察の仕方を基に，日本の諸地域の地域的特色に対する関心を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。</p>	<p>た考察の仕方を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>※次の事象を中核とした考察の仕方ととらえようとする地域についても同様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景 ・産業 ・環境問題や環境保全 ・人口や都市・村落 ・生活・文化 ・他地域との結び付き 	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収集した資料から，日本の諸地域の地域的特色について有用な情報を適切に選択している。 ・適切に選択した情報を基に，日本の諸地域の地域的特色について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<p>の仕方を基に地域的特色を理解し，その知識を身に付けている。</p> <p>※次の事象を中核とした考察の仕方ととらえようとする地域についても同様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景 ・産業 ・環境問題や環境保全 ・人口や都市・村落 ・生活・文化 ・他地域との結び付き
--	---	---	---

(8) 「(2) エ 身近な地域の調査」

【学習指導要領の内容】

エ 身近な地域における諸事象を取り上げ，観察や調査などの活動を行い，生徒が生活している土地に対する理解と関心を深めて地域の課題を見だし，地域社会の形成に参画しその発展に努力しようとする態度を養うとともに，市町村規模の地域の調査を行う際の視点や方法，地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身に付けさせる。

【「(2) エ 身近な地域の調査」の評価規準に盛り込むべき事項】

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
<p>身近な地域の調査とその地域的特色や地域の課題に対する関心を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。</p>	<p>身近な地域の地理的事象から課題を見だし，身近な地域の調査を行う際の視点や方法を基に多面的・多角的に考察し，公正に判断して，その過程や結果を地理的なまとめ方や発表の方法により適切に表現している。</p>	<p>身近な地域の調査とその地域的特色や地域の課題に関する様々な資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	<p>身近な地域の調査について，地域的特色や地域の課題とともに，身近な地域の調査を行う際の視点や方法，地理的なまとめ方や発表の方法を理解し，その知識を身に付けている。</p>

【「(2) エ 身近な地域の調査」の評価規準の設定例】

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の調査を行う際の視点や方法を基に，地域の調査とその地域的特色や地域の課題に対する 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の地理的事象から課題を見だし，その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の調査とその地域的特色や地域の課題に関する様々な資料を収集している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の調査について，調査する地域の地域的特色や地域の課題を理解し，その知識を身に付け

<p>関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の地域的特色や地域の課題を、地域の調査を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を地理的なまとめ方や発表の方法により適切に表現している。 ・身近な地域の調査を行う際の視点や方法を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・収集した資料から、身近な地域の調査とその地域的特色や地域の課題について有用な情報を適切に選択している。 ・適切に選択した情報を基に、身近な地域の調査とその地域的特色や地域の課題について読み取ったり図表などにまとめている。 	<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の調査について、地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法を理解し、その知識を身に付けている。
-------------------------------------	---	--	--

II 歴史的分野

1 歴史的分野の目標

- (1) 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。
- (2) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。
- (3) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。
- (4) 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

2 歴史的分野の評価の観点の趣旨

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
歴史的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、広い視野に立って我が国の伝統と文化について考え国民としての自覚をもととする。	歴史的事象から課題を見だし、我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	年表や歴史地図、映像など歴史に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解し、その知識を身に付けている。

3 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

(1) 「(1) 歴史のとらえ方」

【学習指導要領の内容】

- ア 我が国の歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりするなどの活動を通して、時代の区分やその移り変わりに気付かせ、歴史を学ぶ意欲を高めるとともに、年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解させる。
- イ 身近な地域の歴史を調べる活動を通して、地域への関心を高め、地域の具体的な事柄とのかかわりの中で我が国の歴史を理解させるとともに、受け継がれてきた伝統や文化への関心を高め、歴史の学び方を身に付けさせる。
- ウ 学習した内容を活用してその時代を大観し表現する活動を通して、各時代の特色をとらえさせる。

【「(1) 歴史のとらえ方」の評価規準に盛り込むべき事項】

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色、地域の歴史に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色、地域の歴史について考察し、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色、地域の歴史に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の歴史における時代の移り変わりに気付くとともに、年代の表し方や時代区分についての基本的な内容、身近な地域の歴史とのかかわりの中で我が国の歴史、各時代の特

			色などを理解し、その知識を身に付けている。
--	--	--	-----------------------

【「(1) 歴史のとらえ方」の評価規準の設定例】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
・我が国の歴史上の人物や出来事などに関心を持ち、歴史を意欲的に学ぼうとしている。	・我が国の歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりし、その過程や結果を適切に表現している。	・我が国の歴史上の人物や出来事などについての様々な資料から、時代の区分やその移り変わりに関する情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・我が国の歴史における時代の移り変わりに気付くとともに、年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解している。
・身近な地域の歴史や受け継がれてきた伝統や文化に対する関心を高め、意欲的に調べようとしている。	・身近な地域の歴史を調べる活動を通して、地域の具体的な事柄と我が国の歴史とのかかわりを考察し、適切に表現している。	・身近な地域の歴史に関する様々な資料を収集し、読み取ったり年表や報告書などにまとめたりしている。	・身近な地域の具体的な事柄とのかかわりの中で、我が国の歴史を理解している。
・各時代の特色に対する関心を高め、各時代の特色をとらえる活動に意欲的に取り組もうとしている。	・学習した内容を活用し、その比較や関連付け、総合などを通して、各時代の特色を多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・学習した内容を活用し、各時代の特色に関する有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・他の時代との共通点や相違点に着目して、各時代の特色を理解している。

(2) 「(2) 古代までの日本」

【学習指導要領の内容】

- ア 世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷による統一と東アジアとのかかわりなどを通して、世界の各地で文明が築かれ、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解させる。
- イ 律令国家の確立に至るまでの過程、撰閣政治などを通して、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族の政治が展開したことを理解させる。
- ウ 仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを通して、国際的な要素をもった文化が栄え、後に文化の国風化が進んだことを理解させる。

【「(2) 古代までの日本」の評価規準に盛り込むべき事項】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
古代までの歴史的な事象に対する関心を高め、意欲的に追究し、古代	古代までの歴史的な事象から課題を見だし、古代までの特色などを	年表や歴史地図、映像など古代までに関する様々な資料を収集し、	古代までの特色などを、世界の歴史を背景に理解し、その知識を身に

までの文化遺産を尊重しようとする。	多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	付けている。
-------------------	--	-------------------------------------	--------

【「(2) 古代までの日本」の評価規準の設定例】

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 世界各地の文明のおこりと我が国における国家の形成，律令国家の確立と天皇や貴族の政治の展開，国際的な要素をもった文化と文化の国風化など，古代までの歴史的事象に対する関心を高め，意欲的に追究し，古代までの特色をとらえようとするとともに，古代までの文化遺産を尊重しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の古代文明や宗教のおこり，日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰，大和朝廷による統一と東アジアとのかかわりなどについて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の古代文明や宗教のおこり，日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰，大和朝廷による統一と東アジアとのかかわりなどに関する様々な資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の各地で文明が築かれ，東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解し，その知識を身に付けている。
	<ul style="list-style-type: none"> 律令国家の確立に至るまでの過程，摂関政治などについて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 律令国家の確立に至るまでの過程，摂関政治などに関する様々な資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ，その後，天皇や貴族の政治が展開したことを理解し，その知識を身に付けている。
	<ul style="list-style-type: none"> 仏教の伝来とその影響，仮名文字の成立などについて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 仏教の伝来とその影響，仮名文字の成立などに関する様々な資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際的な要素をもった文化が栄え，後に文化の国風化が進んだことを理解し，その知識を身に付けている。

(3) 「(3) 中世の日本」

【学習指導要領の内容】

ア 鎌倉幕府の成立，南北朝の争乱と室町幕府，東アジアの国際関係，応仁の乱後の社会的な変動などを通して，武家政治の特色を考えさせ，武士が台頭して武家政権が成立し，その支配が次第に全国に広まるとともに，東アジア世界との密接なかかわりがみられたことを理解させる。

イ 農業など諸産業の発達，畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立，禅宗の文化的な影響などを通して，武家政治の展開や民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解させる。

【「(3) 中世の日本」の評価規準に盛り込むべき事項】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
中世の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究し、中世の文化遺産を尊重しようとする。	中世の歴史的事象から課題を見だし、中世の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	年表や歴史地図、映像など中世に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	中世の特色などを、世界の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。

【「(3) 中世の日本」の評価規準の設定例】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・ 武家政権の成立とその支配の広まり、東アジア世界との密接なかかわり、武家政治の展開や民衆の成長を背景とした社会や文化など、中世の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究し、中世の特色をとらえようとするとともに、中世の文化遺産を尊重しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鎌倉幕府の成立、南北朝の争乱と室町幕府、東アジアの国際関係、応仁の乱後の社会的な変動や武家政治の特色について多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鎌倉幕府の成立、南北朝の争乱と室町幕府、東アジアの国際関係、応仁の乱後の社会的な変動などに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が次第に全国に広まるとともに、東アジア世界との密接なかかわりがみられたことを理解し、その知識を身に付けている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、禅宗の文化的な影響などについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、禅宗の文化的な影響などに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 武家政治の展開や民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解し、その知識を身に付けている。

(4) 「(4) 近世の日本」

【学習指導要領の内容】

ア 戦国の動乱，ヨーロッパ人来航の背景とその影響，織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係，武将や豪商などの生活文化の展開などを通して，近世社会の基礎がつけられていったことを理解させる。

イ 江戸幕府の成立と大名統制，鎖国政策，身分制度の確立及び農村の様子，鎖国下の対外関係などを通して，江戸幕府の政治の特色を考えさせ，幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。

ウ 産業や交通の発達，教育の普及と文化の広がりなどを通して，町人文化が都市を中心に形成されたことや，各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。

エ 社会の変動や欧米諸国の接近，幕府の政治改革，新しい学問・思想の動きなどを通して，幕府の政

治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。

【「(4) 近世の日本」の評価規準に盛り込むべき事項】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
近世の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究し、近世の文化遺産を尊重しようとする。	近世の歴史的事象から課題を見だし、近世の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	年表や歴史地図、映像など近世に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近世の特色などを、世界の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。

【「(4) 近世の日本」の評価規準の設定例】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 近世社会の基礎や幕府と藩による支配の確立、町人文化や各地方の生活文化、幕府政治の行き詰まりなど、近世の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究し、近世の特色をとらえようとするとともに、近世の文化遺産を尊重しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 戦国の動乱，ヨーロッパ人来航の背景とその影響，織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係，武将や豪商などの生活文化の展開などについて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 戦国の動乱，ヨーロッパ人来航の背景とその影響，織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係，武将や豪商などの生活文化の展開などに関する様々な資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 近世社会の基礎がつくられていったことを理解し，その知識を身に付けている。
	<ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府の成立と大名統制，鎖国政策，身分制度の確立及び農村の様子，鎖国下の対外関係や江戸幕府の政治の特色について多面的・多角的に考察し，公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府の成立と大名統制，鎖国政策，身分制度の確立及び農村の様子，鎖国下の対外関係などに関する様々な資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幕府と藩による支配が確立したことを理解し，その知識を身に付けている。
	<ul style="list-style-type: none"> 産業や交通の発達，教育の普及と文化の広がりなどについて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 産業や交通の発達，教育の普及と文化の広がりなどに関する様々な資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 町人文化が都市を中心に形成されたことや，各地方の生活文化が生まれたことを理解し，その知識を身に付けている。

		る。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変動や欧米諸国の接近，幕府の政治改革，新しい学問・思想の動きなどについて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変動や欧米諸国の接近，幕府の政治改革，新しい学問・思想の動きなどに関する様々な資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解し，その知識を身に付けている。

(5) 「(5) 近代の日本と世界」

【学習指導要領の内容】

- ア 欧米諸国における市民革命や産業革命，アジア諸国の動きなどを通して，欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。
- イ 開国とその影響，富国強兵・殖産興業政策，文明開化などを通して，新政府による改革の特色を考えさせ，明治維新によって近代国家の基礎が整えられて，人々の生活が大きく変化したことを理解させる。
- ウ 自由民権運動，大日本帝国憲法の制定，日清・日露戦争，条約改正などを通して，立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに，我が国の国際的地位が向上したことを理解させる。
- エ 我が国の産業革命，この時期の国民生活の変化，学問・教育・科学・芸術の発展などを通して，我が国で近代産業が発展し，近代文化が形成されたことを理解させる。
- オ 第一次世界大戦の背景とその影響，民族運動の高まりと国際協調の動き，我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを通して，第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと，大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解させる。
- カ 経済の世界的な混乱と社会問題の発生，昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き，中国などアジア諸国との関係，欧米諸国の動き，戦時下の国民の生活などを通して，軍部の台頭から戦争までの経過と，大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させる。

【「(5) 近代の日本と世界」の評価規準に盛り込むべき事項】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
近代の歴史的事象に対する関心を高め，意欲的に追究し，国際協調の大切さを考えようとする。	近代の歴史的事象から課題を見だし，近代の特色などを多面的・多角的に考察し，公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。	年表や歴史地図，映像など近代に関する様々な資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近代の特色などを，世界の歴史を背景に理解し，その知識を身に付けている。

【「(5) 近代の日本と世界」の評価規準の設定例】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
・欧米諸国における近代社会の成立とアジアへの進出，明治維新による近代国家の	・欧米諸国における市民革命や産業革命，アジア諸国の動きなどについて多面的・	・欧米諸国における市民革命や産業革命，アジア諸国の動きなどに関する様々な資	・欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解し，その知識を身

<p>形成と我が国の国際的地位の向上，近代産業の発展と近代文化の形成，国際平和への努力と二度の世界大戦による惨禍など，近代の歴史的対象に対する関心を高め，意欲的に追究して近代の特色をとらえようとし，国際協調の大切さを考えようとする。</p>	<p>多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	<p>に付けている。</p>
<p>・開国とその影響，富国強兵・殖産興業政策，文明開化や新政府による改革の特色について多面的・多角的に考察し，公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>・開国とその影響，富国強兵・殖産興業政策，文明開化などに関する様々な資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	<p>・開国とその影響，富国強兵・殖産興業政策，文明開化などに関する様々な資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	<p>・明治維新によって近代国家の基礎が整えられて，人々の生活が大きく変化したことを理解し，その知識を身に付けている。</p>
<p>・自由民権運動，大日本帝国憲法の制定，日清・日露戦争，条約改正などについて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>・自由民権運動，大日本帝国憲法の制定，日清・日露戦争，条約改正などに関する様々な資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	<p>・自由民権運動，大日本帝国憲法の制定，日清・日露戦争，条約改正などに関する様々な資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	<p>・立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに，我が国の国際的地位が向上したことを理解し，その知識を身に付けている。</p>
<p>・我が国の産業革命，この時期の国民生活の変化，学問・教育・科学・芸術の発展などについて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>・我が国の産業革命，この時期の国民生活の変化，学問・教育・科学・芸術の発展などに関する様々な資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	<p>・我が国の産業革命，この時期の国民生活の変化，学問・教育・科学・芸術の発展などに関する様々な資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	<p>・我が国で近代産業が発展し，近代文化が形成されたことを理解し，その知識を身に付けている。</p>
<p>・第一次世界大戦の背景とその影響，民族運動の高まりと国際協調の動き，我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などについて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>・第一次世界大戦の背景とその影響，民族運動の高まりと国際協調の動き，我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などに関する様々な資料を収集し，その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>・第一次世界大戦の背景とその影響，民族運動の高まりと国際協調の動き，我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などに関する様々な資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	<p>・第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと，大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解し，その知識を身に付けている。</p>
<p>・経済の世界的な混乱と社会問題の発生，昭和初期から第二次世界大戦の終結まで</p>	<p>・経済の世界的な混乱と社会問題の発生，昭和初期から第二次世界大戦の終結まで</p>	<p>・経済の世界的な混乱と社会問題の発生，昭和初期から第二次世界大戦の終結まで</p>	<p>・軍部の台頭から戦争までの経過と，大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解</p>

	の我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	の我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめている。	し、その知識を身に付けている。
--	---	---	-----------------

(6) 「(6) 現代の日本と世界」

【学習指導要領の内容】

- ア 冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを通して、第二次世界大戦後の諸改革の特色を考えさせ、世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる。
- イ 高度経済成長、国際社会とのかかわり、冷戦の終結などを通して、我が国の経済や科学技術が急速に発展して国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解させる。

【「(6) 現代の日本と世界」の評価規準に盛り込むべき事項】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
現代の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究し、国際協調の大切さを考えようとする。	現代の歴史的事象から課題を見だし、現代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	年表や歴史地図、映像など現代に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめている。	現代の特色などを、世界の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。

【「(6) 現代の日本と世界」の評価規準の設定例】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 新しい日本の建設、経済や科学技術の急速な発展と国民生活の向上、国際社会における我が国の役割の増大など、現代の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究して現代の特色をとらえようとし、国際協調の大切さを考えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰や第二次世界大戦後の諸改革の特色について多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解し、その知識を身に付けている。
	<ul style="list-style-type: none"> 高度経済成長、国際社会とのかかわり、冷戦の終結などについて多面的・多角的 	<ul style="list-style-type: none"> 高度経済成長、国際社会とのかかわり、冷戦の終結などに関する様々な資料を収 	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の経済や科学技術が急速に発展して国民の生活が向上し、国際社会におい

	に考察し，その過程や結果を適切に表現している。	集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	て我が国の役割が大きくなってきたことを理解し，その知識を身に付けている。
--	-------------------------	--	--------------------------------------

Ⅲ 公民的分野

1 公民的分野の目標

- (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う。
- (2) 民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深め、現代社会についての見方や考え方の基礎を養うとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。
- (3) 国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させる。
- (4) 現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

2 公民的分野の評価の観点の趣旨

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
現代の社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、広い視野に立ってよりよい社会を考え公民としての自覚をもって責任を果たそうとする。	現代の社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や役割、相互の関連などを多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	統計や新聞、映像など現代の社会的事象に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	現代社会についての見方や考え方の基礎、現代の社会生活及び政治や経済の基本的な考え方、社会的事象の意義や役割、相互の関連などを理解し、その知識を身に付けている。

3 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

(1) 「(1) ア 私たちが生きる現代社会と文化」

【学習指導要領の内容】

現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などがみられることを理解させるとともに、それらが政治、経済、国際関係に影響を与えていることに気付かせる。また、現代社会における文化の意義や影響を理解させるとともに、我が国の伝統と文化に関心をもたせ、文化の継承と創造の意義に気付かせる。

【「(1) ア 私たちが生きる現代社会と文化」の評価規準に盛り込むべき事項】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
現代日本の社会や我が国の伝統と文化に対する関心を高め、それらを意欲的に追究している。	現代日本の特色や現代社会における文化の意義や影響、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	現代日本の社会や我が国の伝統と文化に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	現代日本の特色や現代社会における文化の意義や影響を理解し、その知識を身に付けている。

【「(1) ア 私たちが生きる現代社会と文化」の評価規準の設定例】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化, 情報化, グローバル化などの現代社会の特色や, 我が国の伝統と文化に対する関心が高まっている。 ・ 現代日本の特色や, 我が国の伝統と文化が自然や社会とのかかわりの中でどのように受け継がれてきたのかについて意欲的に追究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化, 情報化, グローバル化などが政治, 経済, 国際関係に影響を与えていることについて多面的・多角的に考察し, その過程や結果を適切に表現している。 ・ 我が国の伝統と文化の意義や, それらが現代社会に与えている影響などについて多面的・多角的に考察し, その過程や結果を適切に表現している。 ・ 新しい文化の創造に努めることによって初めて普遍的で個性的な文化が育ち得ることについて多面的・多角的に考察し, その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代日本の特色や現代社会における文化の意義や影響, 我が国の伝統と文化に関する資料を様々な情報手段を活用して収集している。 ・ 収集した資料の中から, 少子高齢化, 情報化, グローバル化などや文化についての学習に役立つ情報を適切に選択して, 読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代日本の特色として少子高齢化, 情報化, グローバル化などがあることを理解し, その知識を身に付けている。 ・ 文化によって初めて豊かな生活を享受できること, ものの見方や考え方, 判断, 価値観などが文化によって影響を受けていること, 文化が現代社会を規定する大きな要因の一つであることを理解し, その知識を身に付けている。

(2) 「(1) イ 現代社会をとらえる見方や考え方」

【学習指導要領の内容】

人間は本来社会的存在であることに着目させ, 社会生活における物事の決定の仕方, きまりの意義について考えさせ, 現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として, 対立と合意, 効率と公正などについて理解させる。その際, 個人の尊厳と両性の本質的平等, 契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任などに気付かせる。

【「(1) イ 現代社会をとらえる見方や考え方」の評価規準に盛り込むべき事項】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
<p>社会生活における物事の決定の仕方, きまりの意義に対する関心を高め, それらを意欲的に追究している。</p>	<p>社会生活における物事の決定の仕方, きまりの意義について多面的・多角的に考察し, その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>社会生活における物事の決定の仕方, きまりの意義に関する様々な資料を収集し, 有用な情報を適切に選択して, 読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	<p>社会生活における物事の決定の仕方, きまりの意義と, 現代社会をとらえる見方や考え方の基礎としての対立と合意, 効率と公正などについて理解し, その知識を身に付けている。</p>

【「(1) イ 現代社会をとらえる見方や考え方」の評価規準の設定例】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・家族、学校、地域の自治会、職場など様々な集団における物事の決定の仕方、きまりを守ることの意味に対する関心が高まっている。 ・家族、学校、地域の自治会、職場など様々な集団における物事の決定の仕方、きまりを守ることの意味を意欲的に追究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・決定の仕方や、決定したことを「きまり」として守ることについての意味があるのかについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・社会集団を形成し、その一員として所属する集団や所属員にかかわる問題を解決する際、どのような決定が望ましいのかについて、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎としての対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義に関する資料を様々な情報手段を活用して収集している。 ・収集した資料の中から、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎としての対立と合意、効率と公正などを理解するために役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間は社会的な存在であり、よりよい社会生活を営んでいくためにはきまりや取り決めが必要であることを理解し、その知識を身に付けている。 ・社会生活において「対立」が生じた場合、多様な考え方を持つ人が社会集団の中で共に成り立ち、互いの利益が得られるよう、何らかの決定を行い、「合意」に至る努力がなされていることを理解し、その知識を身に付けている。 ・合意の妥当性を判断する際に、無駄を省く「効率」と決定の手続きや内容についての「公正」が必要であることを理解し、その知識を身に付けている。

(3) 「(2) ア 市場の働きと経済」

【学習指導要領の内容】

身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる。また、現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解させるとともに、社会における企業の役割と責任について考えさせる。その際、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の内容と関連付けて考えさせる。

【「(2) ア 市場の働きと経済」の評価規準に盛り込むべき事項】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
<p>個人や企業の経済活動に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、個人や企業の経済活動について考えようとしている。</p>	<p>社会における企業の役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、個人や企業の経済活動にかかわる様々な事象から</p>	<p>個人や企業の経済活動に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	<p>経済活動の意義、市場経済の基本的な考え方、生産や金融などの仕組みや働き、企業の役割と責任について理解し、その知識を身に付けている。</p>

	課題を見いだし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	
--	--	--

【「(2) ア 市場の働きと経済」の評価規準の設定例】

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・個人の消費生活や企業の生産活動、金融などに対する関心が高まっている。 ・個人や企業の経済活動、金融について意欲的に追究している。 ・今日の経済活動に関する諸問題に着目し、個人や企業の経済活動、金融について考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業には、市場において公正な経済活動を行い、消費者、株主や従業員の利益を増進させる役割があることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・金融の機能、意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・社会における企業の役割と責任について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・職業には、個人の個性を生かすとともに、社会的分業の一部を担うことによって社会に貢献し、社会生活を支える意義があることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・雇用と労働条件の改善が家計の維持・向上につながることに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・市場経済や金融にかかわる課題を見いだし、対立と合意、効 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の消費生活や企業の生産活動、金融などに関する資料を様々な情報手段を活用して収集している。 ・収集した資料の中から、経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方、現代の生産や金融などについての学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済活動の意義が人間の生活の維持・向上にあり、経済は生活のための手段にほかならないことを理解し、その知識を身に付けている。 ・市場経済においては、企業や個人は価格を考慮しつつ、何をどれだけ生産・消費するか選択していることを理解し、その知識を身に付けている。 ・市場経済においては、価格には人的・物的資源を効率よく配分する働きがあることを理解し、その知識を身に付けている。 ・人々が求める財やサービスを作り出す生産が、企業を中心に行われていることを理解し、その知識を身に付けている。 ・金融には、家計の貯蓄などを企業の生産活動や人々の生活の資金などとして円滑に循環させる働きがあることを理解し、その知識を身に付けている。 ・企業は、市場において生産活動以外に社会的に貢献していることを理解し、その知識を身に付けている。

	率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		
--	---	--	--

(4) 「(2) イ 国民の生活と政府の役割」

【学習指導要領の内容】

国民の生活と福祉の向上を図るために、社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、社会保障の充実、消費者の保護など、市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たしている役割について考えさせる。また、財源の確保と配分という観点から財政の役割について考えさせる。その際、租税の意義と役割について考えさせるとともに、国民の納税の義務について理解させる。

【「(2) イ 国民の生活と政府の役割」の評価規準に盛り込むべき事項】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
国や地方公共団体の経済活動に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、経済活動について考えようとしている。	国や地方公共団体が果たしている役割や財政の役割について、国や地方公共団体の経済活動にかかわる様々な事象から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	国や地方公共団体の経済活動に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、社会保障の充実、消費者の保護、租税の意義と役割及び国民の納税の義務について理解し、その知識を身に付けている。

【「(2) イ 国民の生活と政府の役割」の評価規準の設定例】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 国や地方公共団体の経済活動に対する関心が高まっている。 市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に対する国や地方公共団体の経済活動を意欲的に追究している。 市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に着目して、国や地方公共団体の経済活動や財政について考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に対して国や地方公共団体が果たしている役割について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 財政に関して、少子高齢社会など現代社会の特色を踏まえ、財源の確保と望ましい配分について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に説明するな 	<ul style="list-style-type: none"> 国や地方公共団体の経済活動に関する資料を様々な情報手段を活用して収集している。 収集した資料の中から、市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に対して国や地方公共団体が果たしている役割についての学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会資本が多く、経済活動を円滑に進めるために必要な基礎的施設として間接的に経済の発展に役立つことについて理解し、その知識を身に付けている。 個人の生活や産業の発展に伴う公害など環境汚染や自然破壊の問題について理解するとともに、環境を保全し、積極的に人間環境の改善を図るようすることの重要性を理解し、そ

	<p>どしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国や地方公共団体の経済活動にかかわる課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<p>の知識を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法第25条の精神に基づく社会保障制度の基本的な内容を理解するとともに、一層の充実を図る必要があることを理解し、その知識を身に付けている。 ・国や地方公共団体は、消費者の権利の尊重及びその自立の支援のために消費者政策を推進する役割を担っていることを理解し、その知識を身に付けている。 ・国民が納税の義務を果たすことの大切さを、租税の意義と役割の学習を通して理解し、その知識を身に付けている。
--	--	---

(5) 「(3) ア 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則」

【学習指導要領の内容】

人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深めさせ、法の意義を理解させるとともに、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解させ、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について考えさせる。また、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについての理解を深め、日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解させる。

【「(3) ア 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則」の評価規準に盛り込むべき事項】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
人間の尊重についての考え方と法に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、民主的な社会生活について考えようとしている。	我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、民主的な社会生活にかかわる様々な事象から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	人間の尊重についての考え方と法に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	人間の尊重の考え方、法の意義と法に基づく政治の大切さ、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていること、天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解し、その知識を身に付けている。

【「(3) ア 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則」の評価規準の設定例】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方と、日本国憲法をはじめとした法に対する関心が高まっている。 ・ 人間の尊重ということと、法の意義及び法に基づく政治の大切さについて意欲的に追究している。 ・ 人間の尊重についての考え方から、民主的な社会生活について考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本国憲法に基づく政治により、国民の自由と権利が守られ民主政治が行われるということについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・ 基本的人権の尊重を中心とした人間の尊重についての考え方と、日本国憲法をはじめとした法との関連から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人間の尊重についての考え方と日本国憲法をはじめとした法に関する資料を様々な情報手段を活用して収集している。 ・ 収集した資料の中から、法の意義や我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることなどについての学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ すべての人間に保障されるべき基本的人権を中心にして、人間の尊重の考え方を理解し、その知識を身に付けている。 ・ 人間の尊重の考え方は法によって保障されていることを理解し、その知識を身に付けている。 ・ 法に基づく政治が民主政治の原理となっていることを理解し、その知識を身に付けている。 ・ 我が国では日本国憲法が最高法規であり、日本国憲法に基づく政治によって、国民の自由と権利が守られていることを理解し、その知識を身に付けている。 ・ 基本的人権の理念は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であり、価値あるものであることを理解し、その知識を身に付けている。 ・ 基本的人権の理念は、現代の社会生活における人間の生き方の指針となると考えられることについて理解し、その知識を身に付けている。 ・ 国民主権とは、国の政治を最終的に決定する権限が国民にあることを意味していることについて理解し、その知識を身に付けている。 ・ 代表民主制においては、その権力が国民の代表者によって行使されることを理解し、その知識を身に

			<p>付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平和主義については、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、国の安全と生存を保持しようとする願い、国際紛争解決の手段としての戦争を放棄し、陸海空軍その他の戦力を保持しないことを決意したことについて理解し、その知識を身に付けている。 天皇が日本国及び日本国民統合の象徴であること及び天皇の行う国事行為の特色について理解し、その知識を身に付けている。
--	--	--	---

(6) 「(3) イ 民主政治と政治参加」

【学習指導要領の内容】

地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際、地方公共団体の政治の仕組みについて理解させるとともに、住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てる。また、国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解させ、議会制民主主義の意義について考えさせるとともに、多数決の原理とその運用の在り方について理解を深めさせる。さらに、国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解させるとともに、民主政治の推進と、公正な世論の形成や国民の政治参加との関連について考えさせる。その際、選挙の意義について考えさせる。

【「(3) イ 民主政治と政治参加」の評価規準に盛り込むべき事項】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、民主的な政治について考えようとしている。	議会制民主主義や選挙の意義、民主政治の推進と公正な世論の形成や国民の政治参加との関連について、国や地方公共団体の政治にかかわる様々な事象から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	国や地方公共団体の政治に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	地方自治の基本的な考え方、地方公共団体の政治の仕組み、国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらまし、政党の役割、多数決の原理とその運用の在り方、法に基づく公正な裁判の保障について理解し、その知識を身に付けている。

【「(3) イ 民主政治と政治参加」の評価規準の設定例】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・国や地方公共団体における現実の政治に対する関心が高まっている。 ・自らが自らを治めるという民主政治の基本的な考え方と、その考え方に基づく国や地方公共団体の政治の仕組みについて意欲的に追究している。 ・将来国政に参加する公民として、民主的な政治と政治参加の方法について考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国民の代表者によって構成される議会で国民の意思を決定する議会制民主主義が我が国の政治の原則となっていることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・選挙は、主権をもつ国民の意思を政治に反映させるための主要な方法であって、議会制民主主義を支えるものであることを踏まえ、良識ある主権者として主体的に政治に参加することの意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・民主的な政治と政治参加にかかわる課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国や地方公共団体の政治の仕組みに関する資料を様々な情報手段を活用して収集している。 ・収集した資料の中から、自らが自らを治めるという民主政治の基本的な考え方と、その考え方に基づく国や地方公共団体の政治の仕組みについての学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治は、住民参加による住民自治が基本であることを理解し、その知識を身に付けている。 ・地方公共団体の政治は、首長と議会の二つの機関を中心に行われていることを理解し、その知識を身に付けている。 ・国会は、主権者である国民の代表者で構成されていること、また国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関であることを理解し、その知識を身に付けている。 ・内閣については、我が国が議院内閣制を採用していることを理解し、その知識を身に付けている。 ・政党は、同じ政治上の主義・主張をもつ者により組織され、政策を示し多数の合意を得て政権を獲得しようとする団体であり、議会制民主主義の運営上欠くことのできないものであることを理解し、その知識を身に付けている。 ・多数決が民主的な議決方法として用いられるには十分な説得と討論が必要であり、そのため言論の自由が保障されなければならないことを理解し、その知識を身に付けている。 ・多数決が公正に運用されるためには、反対意見や少数意見が十分に尊重される必要があることを理解

			し、その知識を身に付けている。 ・法に基づく公正な裁判によって国民の権利が守られ、社会の秩序が維持されていることを理解し、その知識を身に付けている。 ・司法権の独立と法による裁判が憲法で保障されていることを理解し、その知識を身に付けている。
--	--	--	--

(7) 「(4) ア 世界平和と人類の福祉の増大」

【学習指導要領の内容】

世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを認識させ、国際社会における我が国の役割について考えさせる。その際、日本国憲法の平和主義について理解を深め、我が国の安全と防衛及び国際貢献について考えさせるとともに、核兵器などの脅威に着目させ、戦争を防止し、世界平和を確立するための熱意と協力の態度を育てる。また、地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解させる。

【「(4) ア 世界平和と人類の福祉の増大」の評価規準に盛り込むべき事項】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
国際社会の活動に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、世界平和の実現と人類の福祉の増大について考えようとしている。	国際社会及び我が国の果たす役割について、国際社会の活動にかかわる様々な事象から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	国際社会の活動に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際機構などの役割の大切さについて認識し、日本国憲法の平和主義について理解を深めるとともに、国際社会における課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることについて理解し、その知識を身に付けている。

【「(4) ア 世界平和と人類の福祉の増大」の評価規準の設定例】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
・世界平和の実現と人類の福祉の増大にか	・グローバル化してきた国際社会及び我が	・世界平和の実現と人類の福祉の増大にか	・国際政治は、国際協調の観点に基づいて

<p>かわる国際社会の活動に対する関心が高まっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の安全とアジアについては世界の平和の実現や、我が国が行っている国際貢献について意欲的に追究している。 戦争を防止し、世界平和を確立するための熱意と協力の態度が育ち、人間の生命の尊さ、平和の尊さを考えようとしている。 	<p>国は世界の平和をいかにして実現すべきかということについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国が行っている世界の平和と人類の福祉に貢献している様々な国際貢献について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 世界平和や地球環境、資源・エネルギー、貧困などにかかわる課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<p>かわる国際社会の活動に関する資料を様々な情報手段を活用して収集している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 収集した資料の中から、世界平和や地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題についての学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<p>国家間の対立の克服を試みるものであることを理解し、その知識を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際社会において国家は、原則的に平等の地位を与えられており、すべての国家の主権が相互に尊重されなければならないことを理解し、その知識を身に付けている。 日本国憲法の平和主義に関する理解を基に、人類が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存することを心より願っていることについて理解を深め、その知識を身に付けている。 地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題に対しては、経済的、技術的な協力などが大切であることを理解し、その知識を身に付けている。
---	---	--	--

(8) 「(4) イ よりよい社会を目指して」

【学習指導要領の内容】

持続可能な社会を形成するという観点から、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探究させ、自分の考えをまとめさせる。

【「(4) イ よりよい社会を目指して」の評価規準に盛り込むべき事項】

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
<p>持続可能な社会に対する関心を高め、それを形成するために解決すべき課題を意欲的に探究し、自分の考えをまとめようとしている。</p>	<p>持続可能な社会を形成するために解決すべき課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、判断して、その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>持続可能な社会を形成するために解決すべき課題に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	<p>持続可能な社会を形成するために解決すべき課題を探究するための方法について理解し、その知識を身に付けている。</p>

【「(4) イ よりよい社会を目指して」の評価規準の設定例】

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の形成に対する関心が高まっている。 ・よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を意欲的に探究している。 ・よりよい社会を築いていくために解決すべき課題に関する自分の考えをまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の生活や我が国の取組との関連性に着目し、持続可能な社会を形成するために解決すべき課題を見いだしている。 ・社会科で習得した知識や技能に基づいて、解決すべき課題について、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、判断して、課題の探究の過程、思考の過程及び結果を適切に説明したり論述したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会を形成するために解決すべき課題に関する資料を様々な情報手段を活用して収集している。 ・収集した資料の中から、課題の探究に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間の公平、地域間の公平、男女間の平等、社会的寛容、貧困削減、環境の保全と回復、天然資源の保全、公正で平和な社会などが、持続可能な社会の形成の基礎となることを理解し、その知識を身に付けている。 ・課題の探究については、課題の設定、資料の収集と読取り、考察とまとめ、といった方法があることを理解し、その知識を身に付けている。